

平成 29 (2017) 年度 病院 事業 決算 状況 (速報)

保健福祉部保健福祉課

(単位:百万円)

	岡本台病院			どちぎりハビリテーションセンター			2病院計			
	H28(2016)年度	H29(2017)年度	前年度増減	H28(2016)年度	H29(2017)年度	前年度増減	H28(2016)年度	H29(2017)年度	前年度増減	
許可病床数(床)	221	221	0	80	80	0	301	301	0	
年間入院患者数(人)	61,997	60,387	△ 1,610	25,879	26,995	1,116	87,876	87,382	△ 494	
一日平均(人)	169.9	165.4	△ 4.5	70.9	74.0	3.1				
外来患者数(人)	32,043	32,957	914	24,706	22,941	△ 1,765	56,749	55,898	△ 851	
一日平均(人)	131.9	135.1	3.2	101.7	94.0	△ 7.7				
病床利用率(%)	76.9	74.9	△ 2.0	88.6	92.4	3.8	80.0	79.5	△ 0.5	
単価										
一人一日当入院(円)	21,657	21,512	△ 145	31,020	32,336	1,316				
一人一日当外来(円)	14,853	14,420	△ 433	8,699	9,009	310				
医療収支比率(%)	a/b	74.4	71.5	△ 2.9	55.4	58.1	2.7	66.2	65.7	△ 0.5
経常収支比率(%)	A/B	104.2	102.5	△ 1.7	92.0	102.5	10.5	98.8	102.5	3.7
収益的										
経常収益	A	2,627	2,624	△ 3	1,860	2,098	238	4,487	4,723	235
医療収益	a	1,827	1,784	△ 43	1,032	1,095	64	2,859	2,880	20
医療外収益		799	840	41	829	1,003	174	1,628	1,843	215
うち一般会計負担金(3条)	①	648	686	38	634	802	168	1,282	1,488	206
経常費用	B	2,521	2,560	39	2,022	2,048	26	4,543	4,608	65
医療費用	b	2,456	2,496	41	1,861	1,887	26	4,317	4,383	67
医療外費用		66	64	△ 2	161	161	0	226	225	△ 2
医療損益	a-b	△ 628	△ 712	△ 84	△ 830	△ 792	38	△ 1,458	△ 1,504	△ 46
経常損益	A-B	106	64	△ 41	△ 162	50	212	△ 56	114	170
当年度純損益	A-B	106	64	△ 41	△ 162	50	212	△ 56	114	170
支差的										
累積欠損金		184	120	△ 64	1,411	1,360	△ 50	1,595	1,480	△ 114
収入	C	230	173	△ 57	418	1,038	620	648	1,211	563
企業債		87	32	△ 55	142	541	399	229	572	344
補助金		0	0	△ 0	0	246	246	0	246	246
一般会計負担金(4条)	②	143	141	△ 2	258	251	△ 7	401	392	△ 8
支出	D	329	273	△ 56	573	1,193	620	902	1,466	564
建設改良費		81	18	△ 64	158	786	628	239	803	564
企業債償還金		248	255	7	415	408	△ 8	663	663	△ 0
支差	C-D	△ 99	△ 100	△ 1	△ 155	△ 155	△ 0	△ 254	△ 255	△ 1
一般会計負担金(3条+4条)	①+②	791	827	36	892	1,053	161	1,683	1,880	198
貸借対照										
資産		3,472	3,350	△ 122	5,109	6,065	956	8,581	9,415	834
負債		3,025	2,839	△ 186	6,248	7,129	881	9,272	9,968	695
資本		447	511	64	△ 1,139	△ 1,064	75	△ 692	△ 553	139

各数値の増減要因等

【患者数】
○入院患者数は、精神医療が入院医療中心から地域生活中心に移行していることや平均在院日数の減等により減少した。
○外来患者数は、診療援助医師を確保したことにより増加した。

【収支関係】
○経常収益のうち、入院収益は患者数の減により減少し、外来収益は一部の医薬品を後発医薬品へ切り替えたことにより減少した。
○経常費用は、給与費や診療援助費の増により増加した。

【その他特記事項】
○医師不足が経営改善のネックとなっていることから、引き続き医師確保に尽力する。

【患者数】
○入院患者数は、他の医療機関との連携強化により増加した。
○外来患者数は、療士が不足したことにより減少した。

【収支関係】
○経常収益は、外来患者数の減により外来収益は減少したものの、入院患者数の増に伴う入院収益の増や一般会計負担金(医療外収益)の増等により増加した。
○経常費用は、給与費や委託料の増により増加した。

【その他特記事項】
○貸借対照表上の資本がマイナスとなっているが、これはセンター開設時の自己資本金がゼロであったためである。

【今後の病院経営について】
○病院経営改革プラン[第3次](計画期間:平成29~32年度)に基づき、引き続き、県民に提供する医療サービスの向上と経営の健全化に向け取り組んでいく。
○岡本台病院については、引き続き医師確保に努めるとともに、地方独立行政法人化や機能、施設・設備のあり方の検討を進めていく。

(注) ①収益関係収支は消費税抜きの金額である。②四捨五入により合計等が合わないものがある。③前年度対比は円単位のものである。